

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書様式】（中学校用）

都道府県名	東京都
-------	-----

I 学校の概要（平成15年4月現在）

学校名	新宿区立西戸山中学校					
学 年	1年	2年	3年	特殊学級	計	教員数
学級数	3	3	2		8	17
生徒数	81	91	77		249	

II 研究の概要

1. 研究主題

個に応じた指導の充実～「確かな学力」の向上を目指して～

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

・全学年・全教科  
 ・生徒の学力を単に特定の教科の知識の量として捉えるのではなく、思考力・判断力・表現力や学ぶ意欲等も含め、総合的な学力として捉えることがきわめて重要である。「確かな学力」の定着、その中でも特に基礎・基本を徹底し、自ら学び、自ら考える力等を育成するためには、指導方法・指導体制の工夫改善、習熟の程度に応じた教材の開発、評価の工夫が極めて有効な手立てであると考え、全学年・全教科で取り組むことにした。

(2) 年次ごとの計画

平成14年度	
--------	--

平成15年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ テーマ 個に応じた指導の充実～「確かな学力」の向上を目指して～</li> <li>○ 研究の見通し ①研究の基本方針と全体構想 ②各分科会の構成と研究内容 ③各教科における基礎基本の吟味 ④研究計画と研究の重点 ⑤教師の研修計画</li> <li>○ 研究の内容・方法 ①教材開発グループ ②分かる授業グループ ③望ましい評価の在り方グループに分かれ、授業検証、外部評価、研修会、情報収集、先進校視察等をし、研究を深める。</li> </ul>
--------	---

平成16年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ テーマ 個に応じた指導の充実～「確かな学力」の向上を目指して～</li> <li>○ 研究の見通し 前年度の研究成果と課題を分析し、実践研究を重ね、11月には研究発表を行う。</li> <li>○ 研究の内容・方法 前年度の研究内容の検証をし、基本的には3グループの内容を深める。</li> </ul>
--------	--

\* 平成15年度からの新規校については、平成15、16年度の計画について記入すること。

